

# 1. インフルエンザについての知識と情報

## 1. インフルエンザについての知識

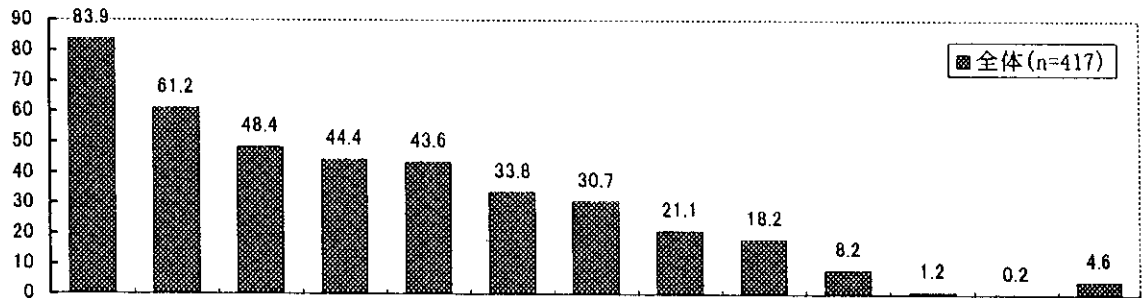
### ①インフルエンザに対する認識

インフルエンザに関する知識についてたずねたところ、「ウイルスによって引き起こされる病気」が最も高く83.9%を占め、次いで「高齢者では死に至ることもある病気」(61.2%)、「インフルエンザウイルスによって起こる伝染病」(48.4%)、「熱の高い病気」(44.4%)、「何年かに1度大流行がおこる病気」(43.6%)などが40%以上となっており、ウイルス性の病気であることの認識は高い。

性・年齢別にみると、「熱の高い病気」、「高齢者では死に至ることもある病気」は男性に比べ女性で高くなっている。特に女性50代以上では「高齢者では死に至ることもある病気」が88.4%と非常に高い。

労務・健康管理業務の有無別では大きな差はみられない。

(MA%)



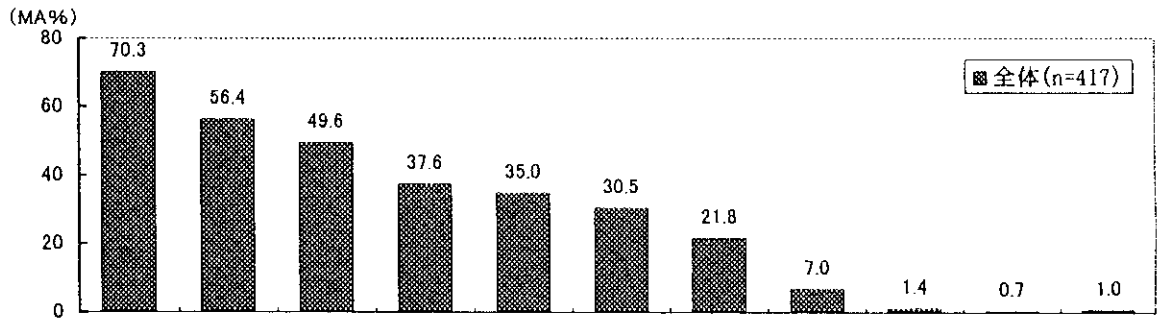
	調査数 (n=)	ウイルスによって引き起こされる病気	高齢者では死に至ることもある病気	インフルエンザウイルスによって起こる伝染病	熱の高い病気	何年かに1度大流行がおこる病気	感染力がとて強い伝染病	小児・幼児で起こることがある病気	風邪がひどくなったもの	香港やロシアからくる風邪	細菌によって引き起こされる病気	弱った原因で起こる病気	その他	無回答
全体	417	83.9	61.2	48.4	44.4	43.6	33.8	30.7	21.1	18.2	8.2	1.2	0.2	4.6
男性計	217	84.3	55.8	48.8	34.6	49.3	36.4	28.1	20.7	22.6	7.8	0.9	0.5	6.9
20代	50	82.0	56.0	50.0	44.0	42.0	38.0	24.0	22.0	32.0	8.0	0.0	0.0	8.0
30代	60	90.0	61.7	58.3	43.3	43.3	35.0	23.3	21.7	25.0	18.3	1.7	0.0	1.7
40代	53	79.2	54.7	43.4	28.3	54.7	41.5	43.4	18.9	18.9	1.9	0.0	1.9	11.3
50代~	54	85.2	50.0	42.6	22.2	57.4	31.5	22.2	20.4	14.8	1.9	1.9	0.0	7.4
女性計	200	83.5	67.0	48.0	55.0	37.5	31.0	33.5	21.5	13.5	8.5	1.5	0.0	2.0
20代	51	88.2	54.9	45.1	54.9	25.5	41.2	21.6	37.3	5.9	11.8	3.9	0.0	0.0
30代	57	82.5	61.4	57.9	59.6	26.3	24.6	36.8	14.0	10.5	8.8	0.0	0.0	1.8
40代	49	73.5	67.3	36.7	57.1	44.9	20.4	32.7	18.4	16.3	6.1	0.0	0.0	4.1
50代~	43	90.7	88.4	51.2	46.5	58.1	39.5	44.2	16.3	23.3	7.0	2.3	0.0	2.3
労務健康管理														
従事者	77	84.4	63.6	49.4	50.6	49.4	40.3	35.1	22.1	14.3	9.1	3.9	0.0	5.2
非従事者	340	83.8	60.6	48.2	42.9	42.4	32.4	29.7	20.9	19.1	7.9	0.6	0.3	4.4

### ②インフルエンザに関する情報の認知状況

最近のインフルエンザに関する情報の認知についてたずねたところ、「病院や老人施設での集団感染」が最も高く70.3%を占め、次いで「インフルエンザワクチン不足」(56.4%)、「学校での予防接種が義務でなく任意に」(49.6%)、「インフルエンザには主にA型、B型の2種類がある」(37.6%)、「インフルエンザが子どもの脳炎・脳症を引き起こす」(35.0%)、「厚生省が高齢者に予防接種を推奨」(30.5%)などが30%以上となっている。

性・年齢別にみると、「病院や老人施設での集団感染」や「厚生省が高齢者に予防接種を推奨」など高齢者に関わる情報については男性に比べ女性が高く、「インフルエンザには主にA型、B型の2種類がある」は男性が女性をやや上回っている。また、男女とも「病院や老人施設での集団感染」、「インフルエンザワクチン不足」、「インフルエンザには主にA型、B型の2種類がある」、「厚生省が高齢者に予防接種を推奨」などの項目では50代以上の層が最も高くなっており、全体的に高齢層が多く情報を認知している。

労務・健康管理業務の有無別にみると、「インフルエンザには主にA型、B型の2種類がある」は業務従事者が高くなっている。



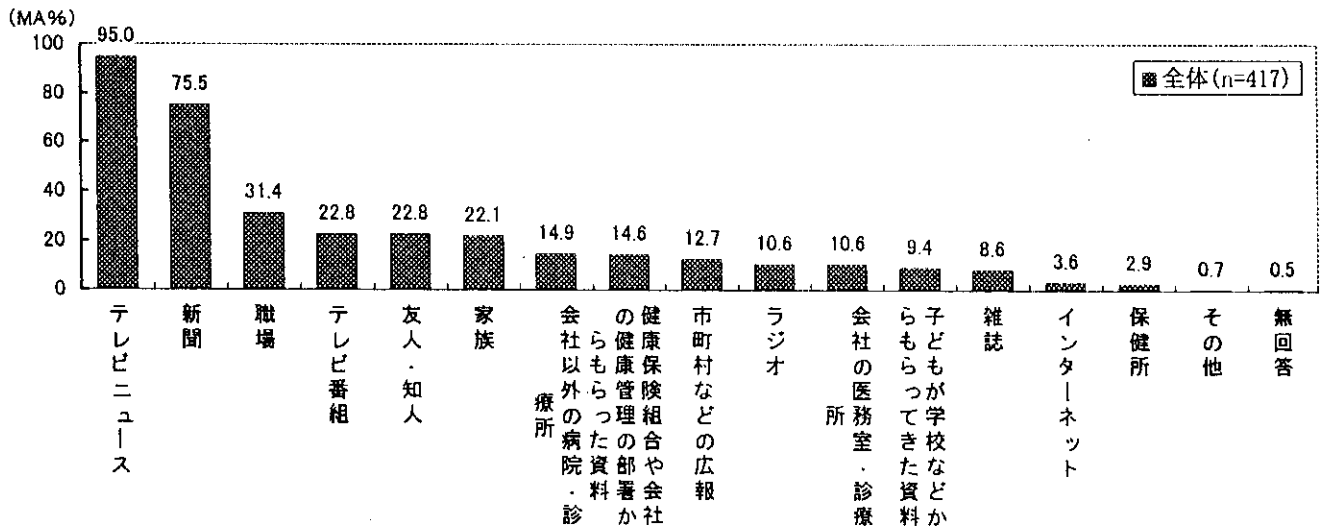
	調査数 (n=)	病院や老人施設での集団感染	インフルエンザワクチン不足	学校での予防接種が義務でなく任意に	インフルエンザには主にA型、B型の2種類がある	インフルエンザが子どもの脳炎・脳症をひきおこす	厚生省が高齢者に予防接種を推奨	「インフルエンザは風邪じゃない」というキヤッチフレーズ	厚生省がインフルエンザ新薬を緊急承認	国立感染症研究所に「インフルエンザ相談ホットライン」設置	その他	無回答
全体	417	70.3	56.4	49.6	37.6	35.0	30.5	21.8	7.0	1.4	0.7	1.0
男性計	217	66.4	55.8	50.7	41.9	30.9	24.0	18.4	6.9	1.4	0.5	0.5
20代	50	60.0	64.0	46.0	34.0	26.0	16.0	12.0	2.0	0.0	0.0	2.0
30代	60	68.3	41.7	46.7	43.3	33.3	31.7	23.3	6.7	1.7	0.0	0.0
40代	53	64.2	45.3	52.8	39.6	39.6	13.2	24.5	9.4	1.9	0.0	0.0
50代～	54	72.2	74.1	57.4	50.0	24.1	33.3	13.0	9.3	1.9	1.9	0.0
女性計	200	74.5	57.0	48.5	33.0	39.5	37.5	25.5	7.0	1.5	1.0	1.5
20代	51	72.5	49.0	45.1	15.7	23.5	33.3	21.6	3.9	0.0	2.0	2.0
30代	57	71.9	42.1	47.4	33.3	43.9	17.5	29.8	5.3	1.8	0.0	0.0
40代	49	63.3	61.2	55.1	30.6	46.9	38.8	26.5	6.1	4.1	2.0	4.1
50代～	43	93.0	81.4	46.5	55.8	44.2	67.4	23.3	14.0	0.0	0.0	0.0
労務健康管理												
従事者	77	67.5	61.0	50.6	45.5	35.1	37.7	24.7	7.8	1.3	0.0	0.0
非従事者	340	70.9	55.3	49.4	35.9	35.0	28.8	21.2	6.8	1.5	0.9	1.2

## 2. インフルエンザについての情報の入手経路

インフルエンザに関する情報の入手経路としては、「テレビニュース」が95.0%と最も高く、次いで「新聞」が75.5%を占め、この2つが大きな情報源となっていることがわかる。その他では、「職場」(31.4%)、「友人・知人」(22.8%)、「テレビ番組」(22.8%)、「家族」(22.1%)が20%以上となっている。

性・年齢別にみると、「職場」、「友人・知人」は女性が高い。また、「新聞」は高齢層ほど高くなる傾向がみられる。

労務・健康管理業務の有無別にみると、「新聞」や「健康保険組合や会社の健康管理の部署からもらった資料」は業務従事者で高く、「友人・知人」は非従事者で高くなっている。



	調査数 (n=)	テレビニュース	新聞	職場	テレビ番組	友人・知人	家族	会社以外の病院・診療所	健康保険組合や会社の健康管理の部署からもらった資料	市町村などの広報
全体	417	95.0	75.5	31.4	22.8	22.8	22.1	14.9	14.6	12.7
男性計	217	93.1	78.8	27.6	22.6	17.5	22.1	12.0	17.5	12.4
20代	50	90.0	66.0	30.0	24.0	30.0	20.0	14.0	8.0	0.0
30代	60	91.7	71.7	30.0	25.0	16.7	28.3	13.3	18.3	10.0
40代	53	94.3	83.0	34.0	20.8	9.4	20.8	7.5	20.8	11.3
50代～	54	96.3	94.4	16.7	20.4	14.8	18.5	13.0	22.2	27.8
女性計	200	97.0	72.0	35.5	23.0	28.5	22.0	18.0	11.5	13.0
20代	51	96.1	62.7	39.2	21.6	27.5	21.6	13.7	7.8	2.0
30代	57	98.2	66.7	42.1	29.8	33.3	28.1	21.1	10.5	8.8
40代	49	95.9	81.6	26.5	22.4	26.5	14.3	16.3	14.3	18.4
50代～	43	97.7	79.1	32.6	16.3	25.6	23.3	20.9	14.0	25.6
労務健康管理										
従事者	77	94.8	83.1	31.2	22.1	16.9	20.8	20.8	22.1	16.9
非従事者	340	95.0	73.8	31.5	22.9	24.1	22.4	13.5	12.9	11.8

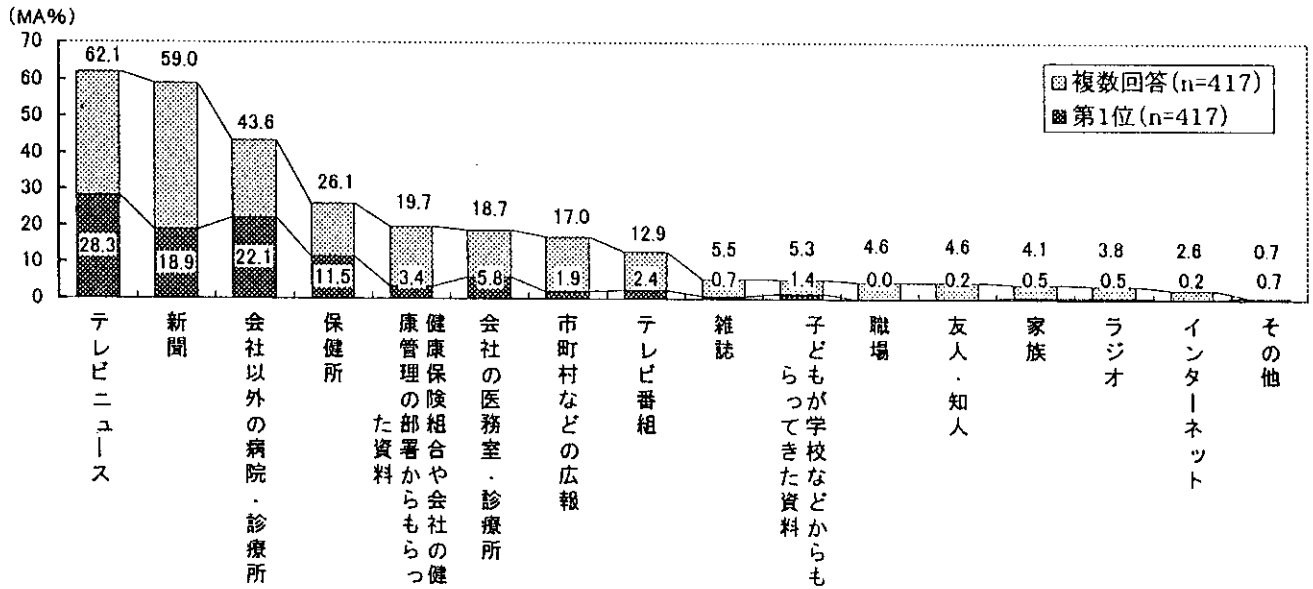
(MA%)

	調査数 (n=)	ラジオ	会社の医務 室・診療所	子どもが学 校などから もらってきた 資料	雑誌	インターネ ット	保健所	その他	無回答
全 体	417	10.6	10.6	9.4	8.6	3.6	2.9	0.7	0.5
男性計	217	11.5	11.1	11.1	11.5	4.6	3.7	0.9	0.0
20代	50	8.0	6.0	8.0	2.0	4.0	0.0	0.0	50
30代	60	11.7	6.7	11.7	6.7	3.3	1.7	0.0	60
40代	53	7.5	26.4	11.3	5.7	1.9	0.0	0.0	53
50代～	54	16.7	5.6	14.8	3.7	5.6	1.9	0.0	54
女性計	200	9.5	10.0	7.5	5.5	2.5	2.0	0.5	1.0
20代	51	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	51
30代	57	10.5	7.0	7.0	3.5	0.0	0.0	0.0	57
40代	49	10.2	12.2	2.0	6.1	4.1	2.0	2.0	49
50代～	43	16.3	11.6	14.0	0.0	4.7	0.0	0.0	43
労務 健康 管理									
従事者	77	15.6	11.7	13.0	5.2	6.5	0.0	0.0	77
非従事者	340	9.4	8.8	7.6	3.2	2.1	0.9	0.6	340

### 3. インフルエンザについての信頼できる情報源

インフルエンザに関する信頼できる情報の入手経路としてをトップボックスで見ると、「テレビニュース」が28.3%と最も高く、次いで「会社以外の病院・診療所」が22.1%を占め、この2つが20%以上となっている。その他では「新聞」(18.9%)、「保健所」(11.5%)が10%以上となっており、マスコミと医療機関が高い信頼を得ているといえる。

性・年齢別にみると、「テレビニュース」、「会社以外の病院・診療所」は女性が男性を上回っている。労務・健康管理業の有無別にみると、「新聞」は業務従事者に比べ、非従事者が高い。



	調査数 (n=)	テレビニュース	会社以外の病院・診療所	新聞	保健所	会社の医務室・診療所	健康保険組合や会社の健康管理の部署からもらった資料	テレビ番組	市町村などの広報	子どもが学校などからもらった資料
全体	417	28.3	22.1	18.9	11.5	5.8	3.4	2.4	1.9	1.4
男性計	217	25.8	17.1	20.7	12.0	6.9	5.1	1.8	2.3	2.3
20代	50	28.0	22.0	14.0	14.0	8.0	0.0	2.0	4.0	0.0
30代	60	23.3	25.0	18.3	16.7	3.3	5.0	1.7	0.0	1.7
40代	53	28.3	13.2	17.0	13.2	5.7	3.8	0.0	3.8	7.5
50代～	54	24.1	7.4	33.3	3.7	11.1	11.1	3.7	1.9	0.0
女性計	200	31.0	27.5	17.0	11.0	4.5	1.5	3.0	1.5	0.5
20代	51	27.5	31.4	15.7	15.7	3.9	2.0	0.0	0.0	0.0
30代	57	35.1	42.1	8.8	5.3	3.5	0.0	3.5	0.0	0.0
40代	49	30.6	18.4	26.5	14.3	2.0	0.0	4.1	2.0	2.0
50代～	43	30.2	14.0	18.6	9.3	9.3	4.7	4.7	4.7	0.0
労務健康管理										
従事者	77	22.1	23.4	22.1	11.7	6.5	6.5	1.3	0.0	1.3
非従事者	340	29.7	21.8	18.2	11.5	5.6	2.6	2.6	2.4	1.5

(%)

	調査数 (n=)	雑誌	ラジオ	家族	友人・知人	インターネ ット	職場	その他	無回答
全 体	417	0.7	0.5	0.5	0.2	0.2	0.0	0.7	1.4
男性計	217	0.9	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0	1.4	1.8
20代	50	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	2.0	4.0
30代	60	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	1.7	1.7
40代	53	3.8	1.9	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0
50代～	54	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9
女性計	200	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
20代	51	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9
30代	57	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	49	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50代～	43	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
労務 健康 管理									
従事者	77	0.0	0.0	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	2.6
非従事者	340	0.9	0.6	0.3	0.3	0.0	0.0	0.9	1.2

更に、インフルエンザに関する信頼できる情報の入手経路を複数回答でみると、「テレビニュース」が62.1%と最も高く、次いで「新聞」が59.0%を占め、この2つが60%前後と非常に高くなっている。その他では「会社以外の病院・診療所」(43.6%)、「保健所」(26.1%)が20%以上となっており、マスコミが医療機関を上回っている。

性・年齢別にみると、「テレビニュース」、「会社以外の病院・診療所」は女性が男性を上回っている。

労務・健康管理業の有無別にみると、「会社の医務室・診療所」、「会社以外の病院・診療所」、「健康保険組合や会社の健康管理の部署からもらった資料」は業務従事者で高くなっている。

(MA%)

	調査数 (n=)	テレビニ ュース	新聞	会社以外の 病院・診療 所	保健所	健康保険組 合や会社の 健康管理の 部署からも らった資料	会社の医務 室・診療所	市町村など の広報	テレビ番組	雑誌
全 体	417	62.1	59.0	43.6	26.1	19.7	18.7	17.0	12.9	5.5
男性計	217	57.1	57.6	35.5	26.7	22.1	19.8	20.3	14.3	6.9
20代	50	60.0	52.0	48.0	32.0	10.0	14.0	12.0	12.0	8.0
30代	60	58.3	51.7	38.3	33.3	21.7	23.3	16.7	16.7	3.3
40代	53	60.4	64.2	32.1	22.6	24.5	18.9	18.9	15.1	7.5
50代～	54	50.0	63.0	24.1	18.5	31.5	22.2	33.3	13.0	9.3
女性計	200	67.5	60.5	52.5	25.5	17.0	17.5	13.5	11.5	4.0
20代	51	66.7	56.9	54.9	33.3	17.6	15.7	3.9	11.8	2.0
30代	57	71.9	54.4	63.2	26.3	15.8	15.8	10.5	12.3	5.3
40代	49	67.3	69.4	42.9	26.5	18.4	18.4	16.3	12.2	0.0
50代～	43	62.8	62.8	46.5	14.0	16.3	20.9	25.6	9.3	9.3
労務 健康 管理										
従事者	77	59.7	53.2	50.6	23.4	26.0	24.7	18.2	5.2	2.6
非従事者	340	62.6	60.3	42.1	26.8	18.2	17.4	16.8	14.7	6.2

(MA%)

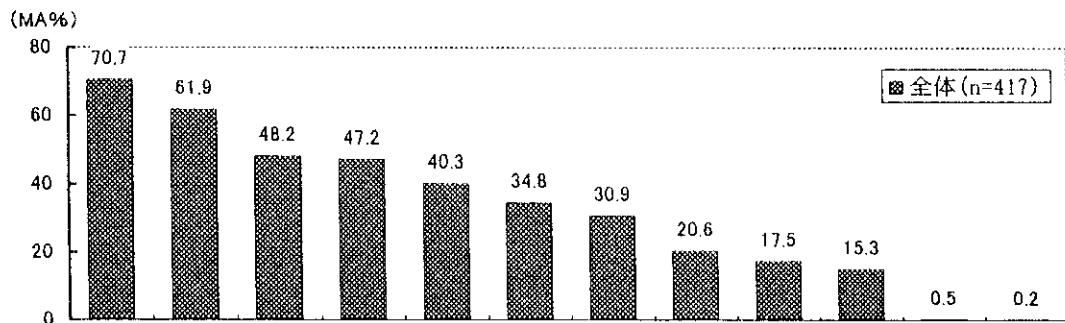
	調査数 (n=)	子どもが学 校などから もらってきた資料	職場	友人・知人	家族	ラジオ	インターネッ ト	その他	無回答
全 体	417	5.3	4.6	4.6	4.1	3.8	2.6	0.7	1.2
男性計	217	6.0	5.5	4.1	4.6	3.7	2.8	1.4	1.4
20代	50	4.0	6.0	10.0	8.0	4.0	2.0	2.0	4.0
30代	60	6.7	5.0	5.0	5.0	1.7	1.7	1.7	1.7
40代	53	13.2	3.8	0.0	1.9	5.7	3.8	0.0	0.0
50代～	54	0.0	7.4	1.9	3.7	3.7	3.7	1.9	0.0
女性計	200	4.5	3.5	5.0	3.5	4.0	2.5	0.0	1.0
20代	51	0.0	7.8	2.0	3.9	7.8	2.0	0.0	3.9
30代	57	8.8	0.0	7.0	0.0	1.8	3.5	0.0	0.0
40代	49	6.1	6.1	4.1	6.1	0.0	4.1	0.0	0.0
50代～	43	2.3	0.0	7.0	4.7	7.0	0.0	0.0	0.0
労務 健康 管理									
従事者	77	5.2	2.6	3.9	9.1	1.3	3.9	0.0	1.3
非従事者	340	5.3	5.0	4.7	2.9	4.4	2.4	0.9	1.2

#### 4. インフルエンザについて必要な情報

インフルエンザに関する情報でより必要とされているものは、「かかったときの対処法について」が最も高く70.7%を占め、次いで「かかりはじめの症状について」(61.9%)、「治療薬について」(48.2%)、「予防のための生活習慣について」(47.2%)、「予防接種について」(40.3%)が40%以上となっており、予防と治療に関する情報が上位を占めている。

性・年齢別にみると、「治療薬について」は女性が59.0%と非常に高く、「子どものインフルエンザについて」は男性がやや高くなっている。また、「かかったときの対処法について」、「かかりはじめの症状について」は男女とも20代など若年層で高くなっている。

労務・健康管理業務の有無別にみると、「予防のための生活習慣について」は業務従事者で54.5%と高くなっている。



	調査数 (n=)	かかったときの対処法について	かかりはじめの症状について	治療薬について	予防のための生活習慣について	予防接種について	インフルエンザの流行状況について	予防薬について	子どものインフルエンザについて	相談窓口や専門医に関する情報	高齢者のインフルエンザについて	その他	無回答
全体	417	70.7	61.9	48.2	47.2	40.3	34.8	30.9	20.6	17.5	15.3	0.5	0.2
男性計	217	68.7	60.4	38.2	45.2	40.6	34.6	27.6	26.3	15.2	12.0	0.9	0.5
20代	50	74.0	74.0	30.0	48.0	22.0	34.0	24.0	16.0	14.0	4.0	2.0	0.0
30代	60	68.3	61.7	40.0	38.3	38.3	33.3	28.3	35.0	13.3	8.3	0.0	0.0
40代	53	62.3	52.8	45.3	50.9	45.3	26.4	28.3	39.6	17.0	9.4	0.0	1.9
50代～	54	70.4	53.7	37.0	44.4	55.6	44.4	29.6	13.0	16.7	25.9	1.9	0.0
女性計	200	73.0	63.5	59.0	49.5	40.0	35.0	34.5	14.5	20.0	19.0	0.0	0.0
20代	51	80.4	68.6	52.9	52.9	21.6	31.4	29.4	5.9	15.7	7.8	0.0	0.0
30代	57	77.2	66.7	71.9	56.1	40.4	33.3	33.3	15.8	22.8	14.0	0.0	0.0
40代	49	71.4	61.2	49.0	46.9	44.9	28.6	36.7	20.4	18.4	18.4	0.0	0.0
50代～	43	60.5	55.8	60.5	39.5	55.8	48.8	39.5	16.3	23.3	39.5	0.0	0.0
労務健康管理													
従事者	77	71.4	62.3	49.4	54.5	45.5	32.5	31.2	20.8	15.6	18.2	2.6	0.0
非従事者	340	70.6	61.8	47.9	45.6	39.1	35.3	30.9	20.6	17.9	14.7	0.0	0.3

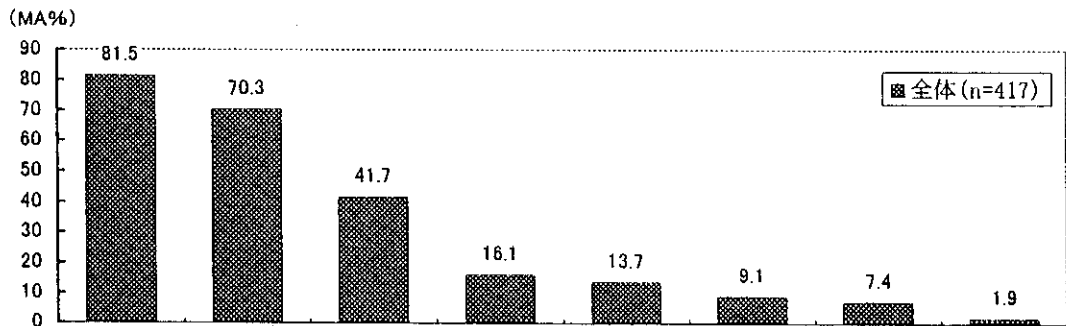
## II. インフルエンザの予防の状況

### 1. インフルエンザの予防行為

インフルエンザの予防行為としては、「うがいをする」(81.5%)と「手を洗う」(70.3%)が非常に高く、次いで「体を休めるようにする」(41.7%)が挙げられている。

性・年齢別にみると、大きな差はみられないものの、すべての項目で女性が男性を上回っている。また、多くの項目で男性は30代、女性は40代が最も高くなっている。

労務・健康管理業務の有無別のみと、業務従事者では「体を休めるようにする」が50.6%と高くなっている。



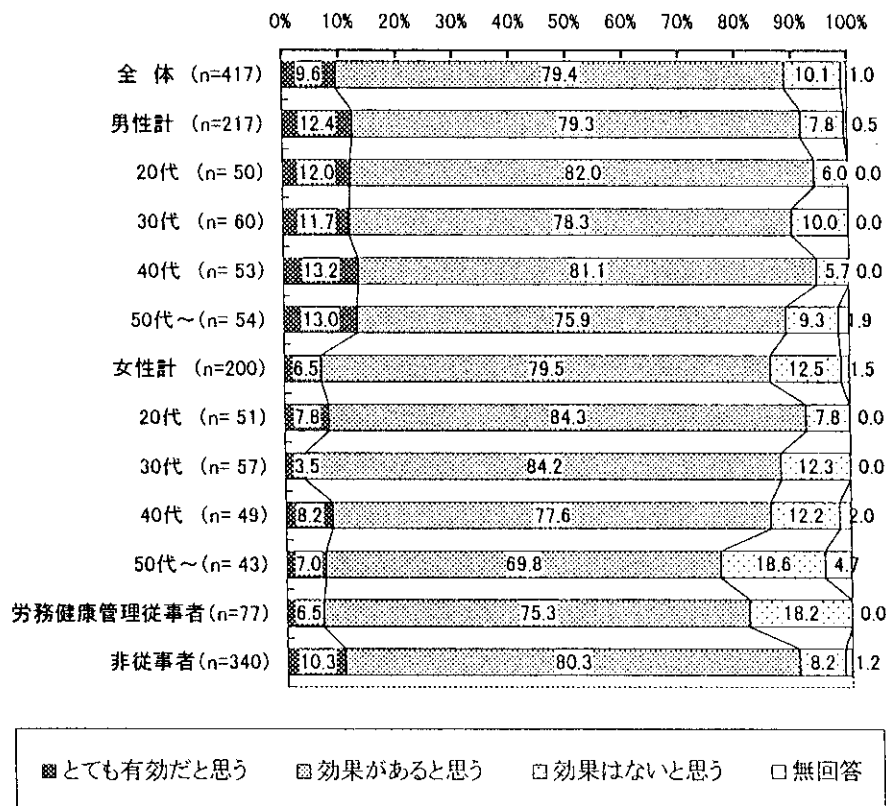
	調査数 (n=)	うがいをする	手を洗う	体を休めるようにする	ビタミン剤を飲む	混雑したところに行かない	外出時にマスクをかける	その他	無回答
全体	417	81.5	70.3	41.7	16.1	13.7	9.1	7.4	1.9
男性計	217	79.7	64.5	37.8	13.8	9.2	8.8	6.9	2.8
20代	50	76.0	60.0	26.0	10.0	8.0	4.0	8.0	8.0
30代	60	86.7	68.3	33.3	15.0	3.3	3.3	3.3	0.0
40代	53	75.5	64.2	49.1	11.3	13.2	9.4	9.4	0.0
50代～	54	79.6	64.8	42.6	18.5	13.0	18.5	7.4	3.7
女性計	200	83.5	76.5	46.0	18.5	18.5	9.5	8.0	1.0
20代	51	76.5	76.5	47.1	23.5	9.8	5.9	7.8	0.0
30代	57	84.2	71.9	43.9	15.8	17.5	7.0	7.0	1.8
40代	49	91.8	83.7	44.9	20.4	24.5	10.2	2.0	2.0
50代～	43	81.4	74.4	48.8	14.0	23.3	16.3	16.3	0.0
労務健康管理									
従事者	77	88.3	71.4	50.6	13.0	14.3	9.1	9.1	1.3
非従事者	340	80.0	70.0	39.7	16.8	13.5	9.1	7.1	2.1

## 2. インフルエンザ予防接種の効果

予防接種の効果についてたずねたところ、「とても有効だと思う」は9.6%、「効果があると思う」は最も高く79.4%、「効果はないと思う」は10.1%であり、約9割が効果があると考えている。

性・年齢別にみると、「とても有効だと思う」は男性12.4%に比べ、女性は6.5%とやや低い。

労務・健康管理業務の有無別にみると、「効果はないと思う」は業務従事者18.2%、非従事者8.2%となっており、業務従事者では効果がないと考える人が多くなっている。

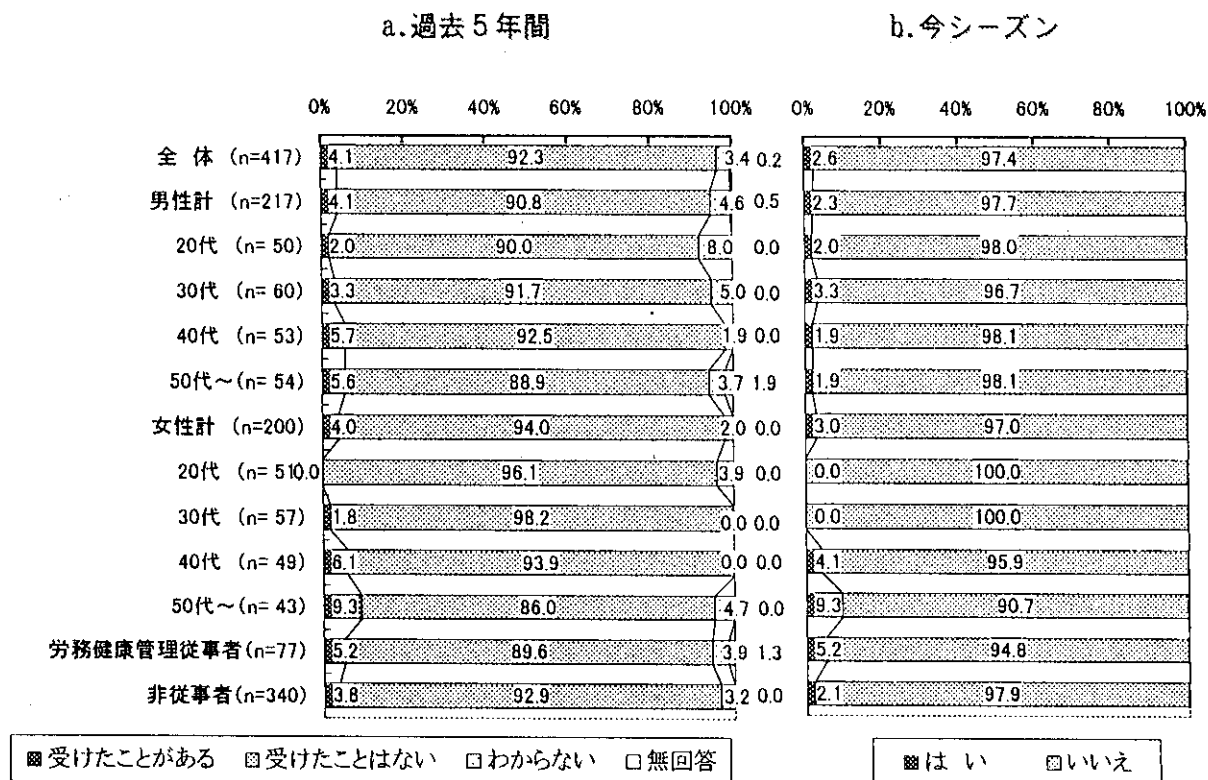


### 3. インフルエンザ予防接種の状況

#### ①予防接種の状況

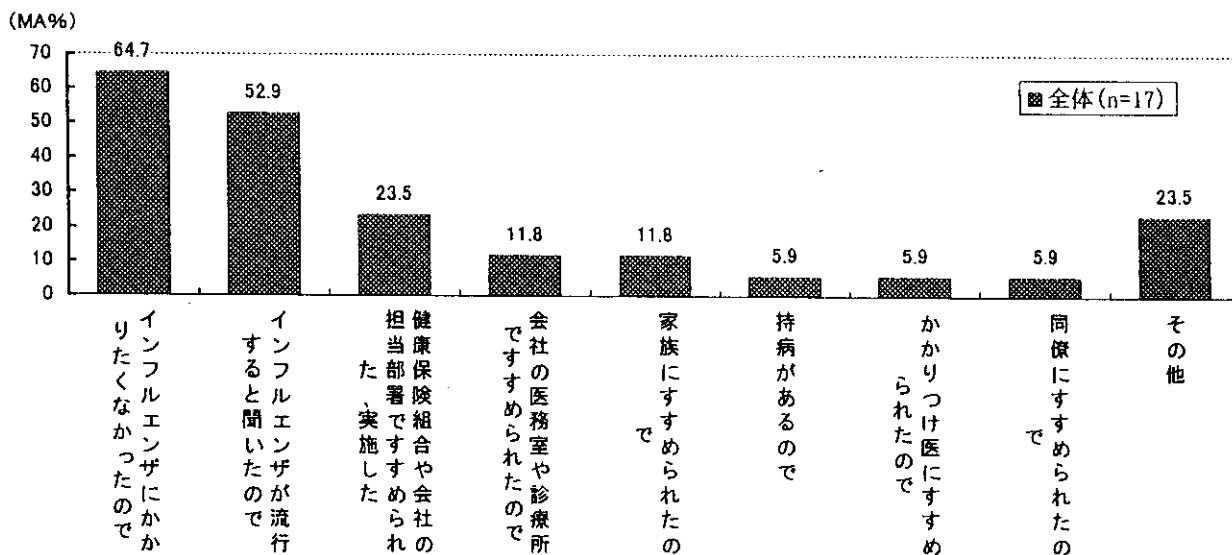
過去5年間に予防接種を「受けたことがある」は4.1%であり、「受けたことはない」が92.3%と圧倒的多数を占めている。また、今シーズンの予防接種の有無では受診者が2.6%であった。

性・年齢別、労務・健康管理業務の有無別では大きな差はみられない。



#### ②予防接種を受けた理由

予防接種を受けた理由としては、「インフルエンザにかかりたくなかったので」(64.7%)、「インフルエンザが流行すると聞いたので」(52.9%)、「健康保険組合や会社の担当部署で薦められた、もしくは実施したので」(23.5%)などが20%以上で挙げられている。



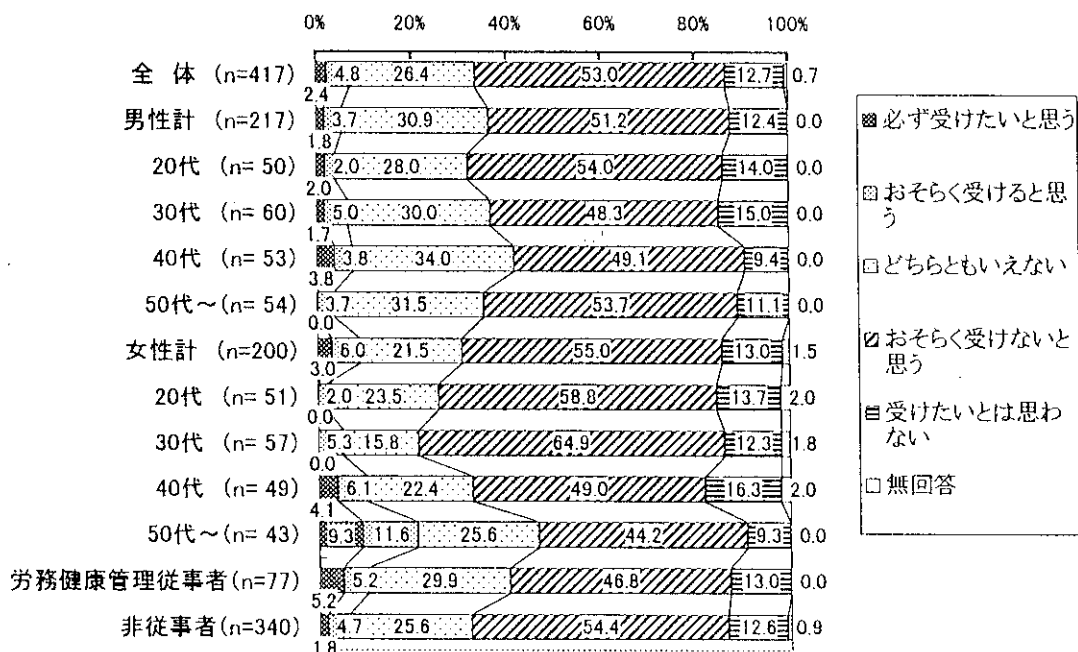
#### 4. インフルエンザ予防接種の意向

##### ① 予防接種の意向

今後予防接種を受ける意向があるかをたずねたところ、「必ず受けたい」(2.4%)と「おそらく受けると思う」(4.8%)を合わせた意向者はわずかに7.2%であり、「おそらく受けないと思う」(53.0%)と「受けたいとは思わない」(12.7%)を合わせた非意向者は65.7%と多数を占めている。また、「どちらともいえない」は26.4%であった。

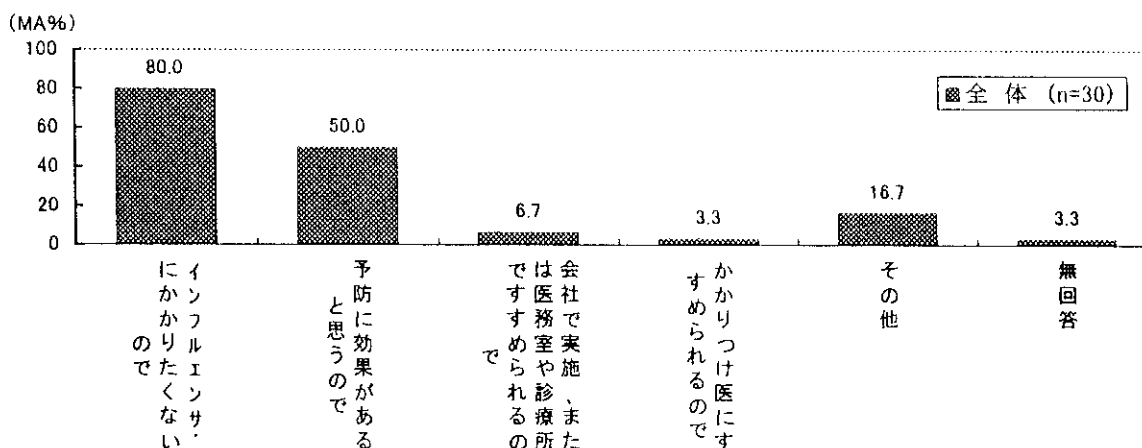
性・年齢別にみると、意向者は男性5.5%に対し、女性9.0%と僅かながら女性が上回っており、特に女性50代以上では20.9%と意向が高い。

労務・健康管理業務の有無別にみると、意向者が業務従事者では10.4%、非従事者では6.5%と僅かながら業務従事者が上回っている。



##### ② 予防接種の意向理由

予防接種を受けたいと思う理由としては、「インフルエンザにかかりたくない」が80.0%と非常に高く、次いで「予防に効果があると思うので」が50.0%となっている。

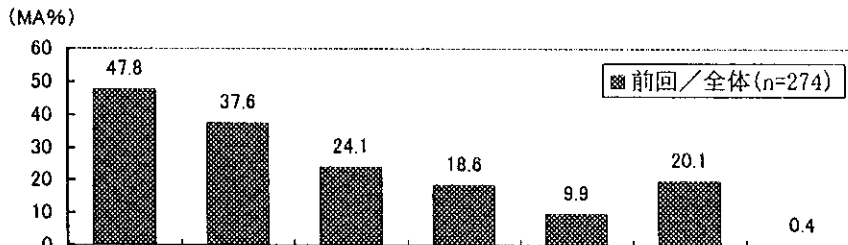


### ③予防接種の非意向理由

予防接種を受けたくない理由としては、「面倒なので」が47.8%と最も高く、次いで「時間がないので」(37.6%)、「薬には頼りたくないの」(24.1%)などとなっている。

性・年齢別にみると、男性では「面倒なので」がやや高く、特に男性40代では61.3%となっている。一方、女性では「薬には頼りたくないの」が男性を上回っている。

労務・健康管理業務の有無別にみると、業務従事者では「効果がないと思うの」が19.6%と非従事者を上回っており、非従事者では「面倒なので」が高くなっている。



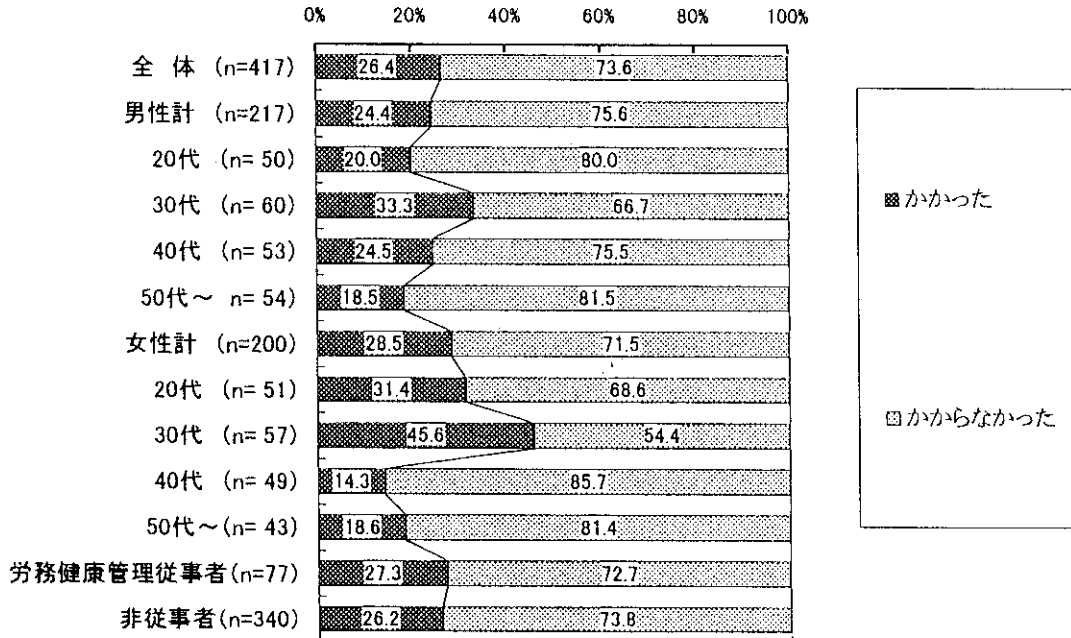
	調査数 (n=)	面倒な ので	時間がない ので	薬には頼 りたくない の	2,3日寝 ていけば 治るので	効果がな いと思う ので	その他	無回答
全 体	274	47.8	37.6	24.1	18.6	9.9	20.1	0.4
男性計	138	52.2	38.4	18.1	20.3	7.2	18.8	0.7
20代	34	55.9	41.2	14.7	17.6	8.8	11.8	0.0
30代	38	52.6	36.8	10.5	10.5	2.6	23.7	2.6
40代	31	61.3	51.6	22.6	32.3	3.2	12.9	0.0
50代～	35	40.0	25.7	25.7	22.9	14.3	25.7	0.0
女性計	136	43.4	36.8	30.1	16.9	12.5	21.3	0.0
20代	37	56.8	32.4	16.2	13.5	8.1	16.2	0.0
30代	44	40.9	45.5	34.1	20.5	6.8	22.7	0.0
40代	32	37.5	28.1	37.5	9.4	15.6	28.1	0.0
50代～	23	34.8	39.1	34.8	26.1	26.1	17.4	0.0
労務 健康 管理								
従事者	46	34.8	37.0	21.7	21.7	19.6	19.6	0.0
非従事者	228	50.4	37.7	24.6	18.0	7.9	20.2	0.4

### Ⅲ. インフルエンザの治療の状況

#### 1. インフルエンザの罹患状況

今シーズン、昨シーズンにインフルエンザにかかった割合は 26.4%と約 1/4 を占め、男女とも 30 代が最も高くなっている。

労務・健康管理業務の有無別では大きな差はみられない。



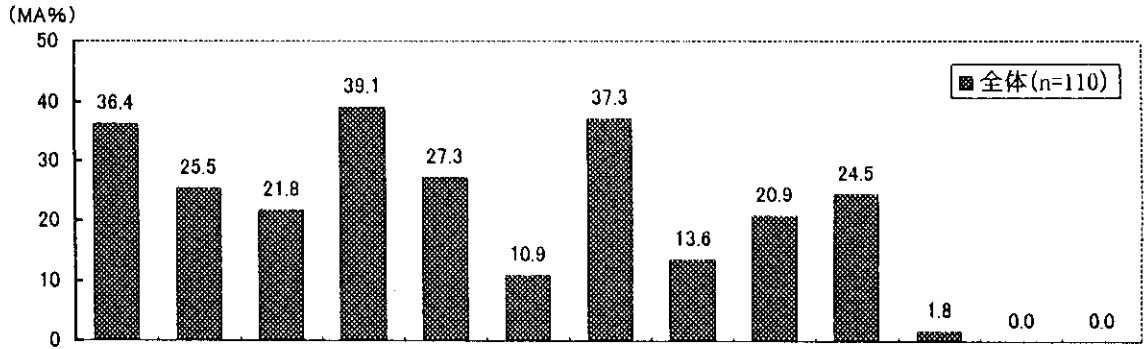
#### 2. インフルエンザ罹患時の対処

##### ①罹患時の対処

インフルエンザにかかったときの対処法のうち、通院に関しては「すぐに病院に行った」が 36.4%と最も高く、「かなり症状が重くなってから病院に行った」は 25.5%、「結局病院には行かなかった」が 21.8%であった。次に休養に関しては「すぐに仕事を休み、休養した」(39.1%)、「仕事が休みの日に家で寝ていた」(37.3%) がそれぞれ4割程度を占め、「かなり症状が重くなってから仕事を休んだ」は 27.3%、「結局仕事は休まなかった」が 10.9%であった。そして、薬の服用に関しては「抗生剤（抗生物質）を服用した」(24.5%)、「家や職場にあった風邪薬を服用した」(20.9%) がそれぞれ 20%以上、「薬局で相談して風邪薬を購入して服用した」は 13.6%であった。

性・年齢別にみると、「かなり症状が重くなってから病院に行った」、「結局病院には行かなかった」、「かなり症状が重くなってから仕事を休んだ」など、すぐに対処をしていない人は男性で多く、女性は「すぐに病院に行った」、「すぐに仕事を休み、休養した」などすぐに対処をしている割合が高い。

労務・健康管理業務の有無別にみると、業務従事者では「結局病院には行かなかった」、「結局仕事は休まなかった」などあまり対処していない人が多くみられる。



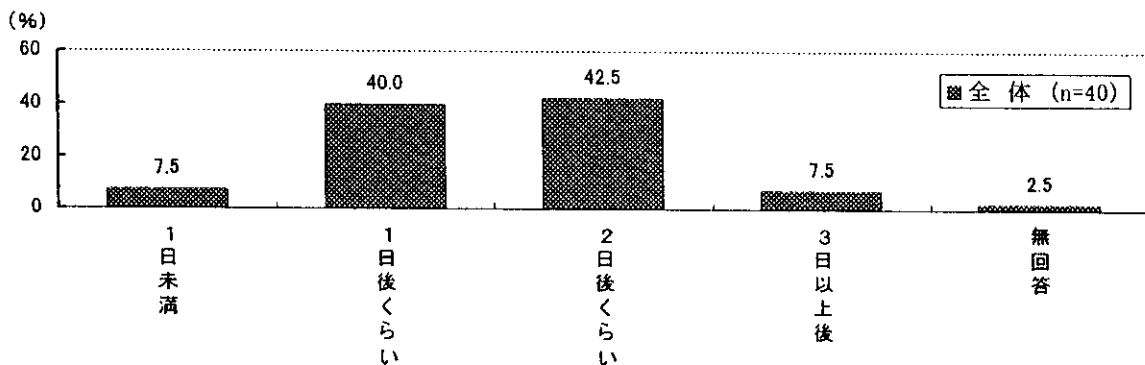
	調査数 (n=)	すぐ病院に行った	かなり症状が重くなってから病院に行った	結局病行かなかった	すぐに仕事を休養した	かなり症状が重くなって仕事を休んだ	結局仕事は休まなかった	休みの日に家で寝ていた	薬局で風邪薬を購入して服用した	職場に風邪薬を服用した	抗生剤(抗生物質)を服用した	その他	特にもしなかった	無回答
全体	110	36.4	25.5	21.8	39.1	27.3	10.9	37.3	13.6	20.9	24.5	1.8	0.0	0.0
男性計	53	22.6	35.8	26.4	26.4	39.6	13.2	34.0	13.2	34.0	24.5	0.0	0.0	0.0
20代	10	10.0	40.0	30.0	20.0	50.0	10.0	40.0	10.0	50.0	20.0	0.0	0.0	0.0
30代	20	25.0	25.0	40.0	35.0	35.0	25.0	20.0	15.0	45.0	30.0	0.0	0.0	0.0
40代	13	30.8	61.5	7.7	15.4	38.5	0.0	53.8	0.0	7.7	30.8	0.0	0.0	0.0
50代~	10	20.0	20.0	20.0	30.0	40.0	10.0	30.0	30.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0
女性計	57	49.1	15.8	17.5	50.9	15.8	8.8	40.4	14.0	8.8	24.6	3.5	0.0	0.0
20代	16	62.5	18.8	12.5	31.3	31.3	12.5	25.0	12.5	12.5	31.3	0.0	0.0	0.0
30代	26	38.5	19.2	15.4	53.8	11.5	7.7	46.2	23.1	7.7	23.1	3.8	0.0	0.0
40代	7	57.1	0.0	28.6	71.4	0.0	14.3	42.9	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0
50代~	8	50.0	12.5	25.0	62.5	12.5	0.0	50.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
労務健康管理 従事者	21	33.3	28.6	33.3	28.6	28.6	23.8	47.6	14.3	14.3	23.8	0.0	0.0	0.0
非従事者	89	37.1	24.7	19.1	41.6	27.0	7.9	34.8	13.5	22.5	24.7	2.2	0.0	0.0

## ②受診までの期間

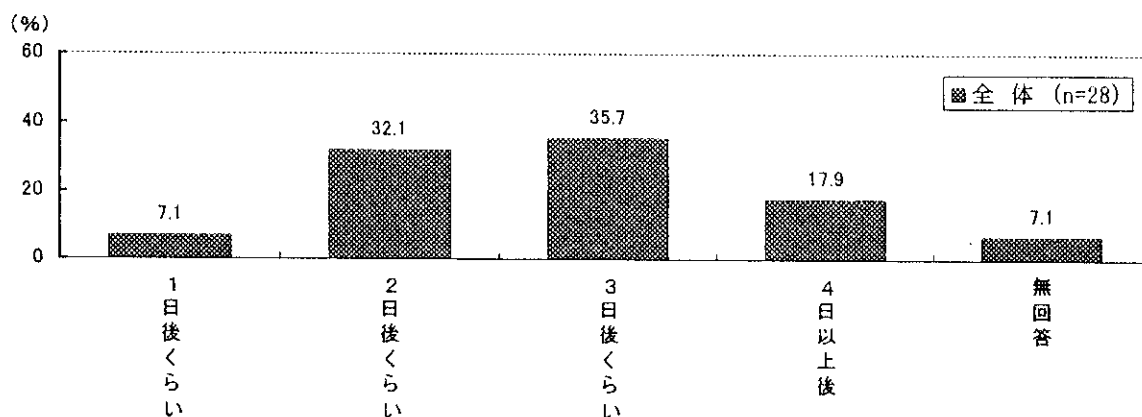
「すぐ病院に行った」場合の病院に行くまでの期間は「2日後くらい」が42.5%、「1日後くらい」が40.0%を占めており、1~2日後が最も多くなっている。

また、「症状が重くなってから病院に行った」場合の病院に行くまでの期間は「3日後くらい」が35.7%、「2日後くらい」が32.1%を占めており、2~3日後が最も多くなっている。

「すぐ病院に行った」場合



「症状が重くなってから病院に行った」場合

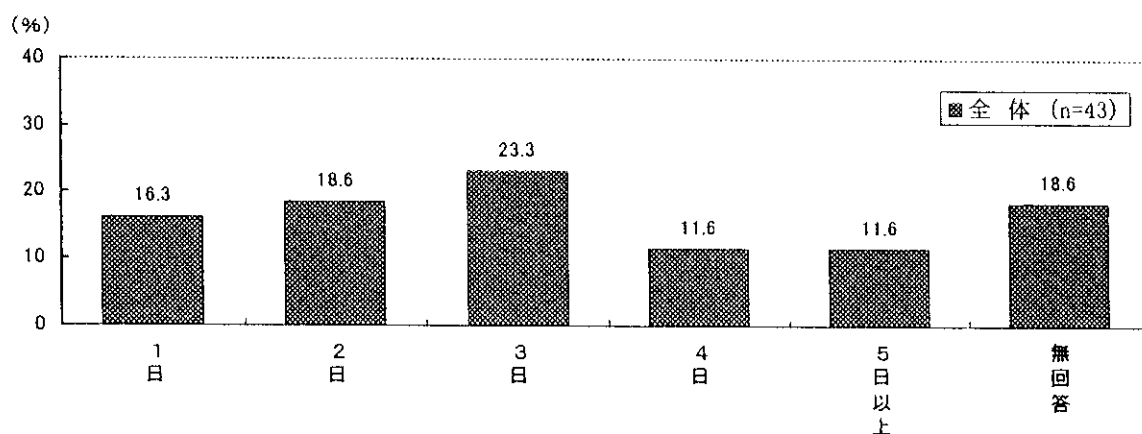


③休職日数

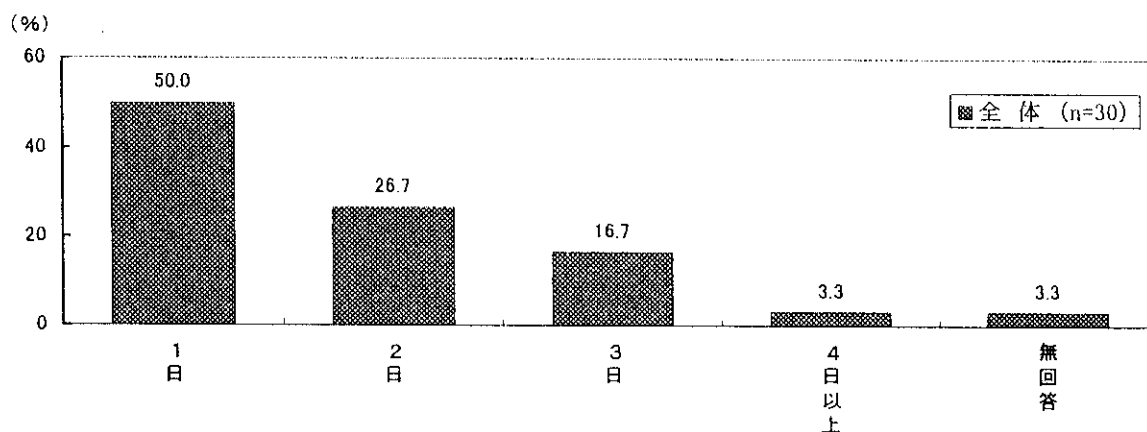
「すぐに仕事を休んだ」場合の休んだ期間は「3日」が23.3%と最も多く、次いで「2日」(18.6%)、「1日」(16.3%)となっている。

また、「症状が重くなってから仕事を休んだ」場合の休んだ期間は「1日」が50.0%と半数を占めている。

「すぐに仕事を休んだ」場合

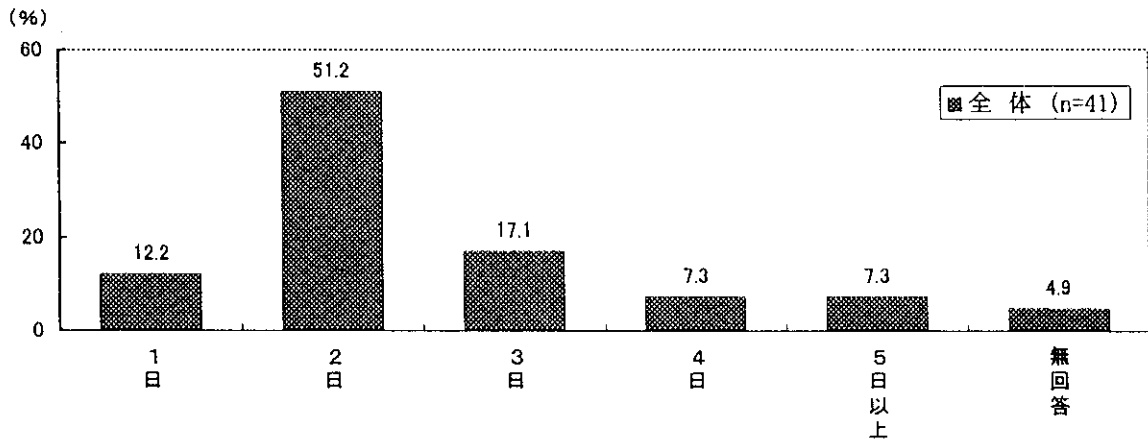


「症状が重くなってから仕事を休んだ」場合



④自宅での休養日数

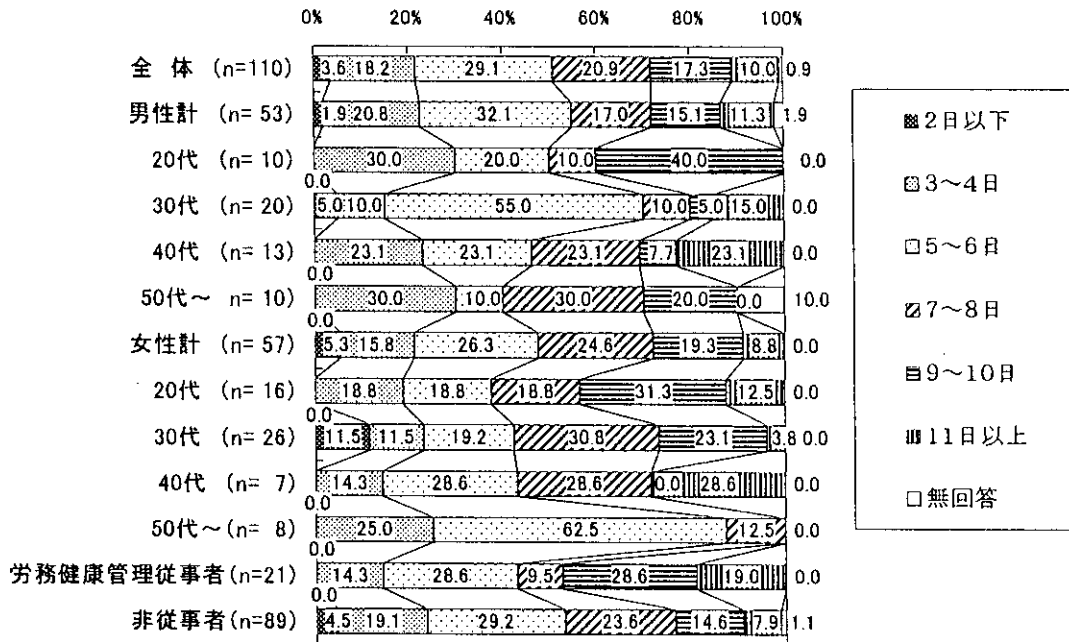
「仕事が休みの日に家で寝ていた」期間は「2日」が51.2%と半数を占め、次いで「3日」(17.1%)、「1日」(12.2%)となっている。



⑤快復までの期間

快復するまでの期間は、「5～6日」が最も高く 29.1%、次いで「7～8日」(20.9%)、「3～4日」(18.2%)、「9～10日」(17.3%)となっている。

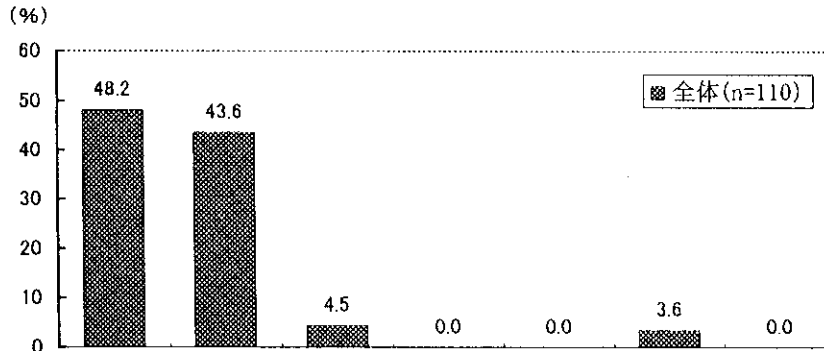
性別にみると、男性に比べ女性の方が快復までの期間がやや長い。



### 3. インフルエンザ罹患時の問題点

#### ①罹患時の問題点

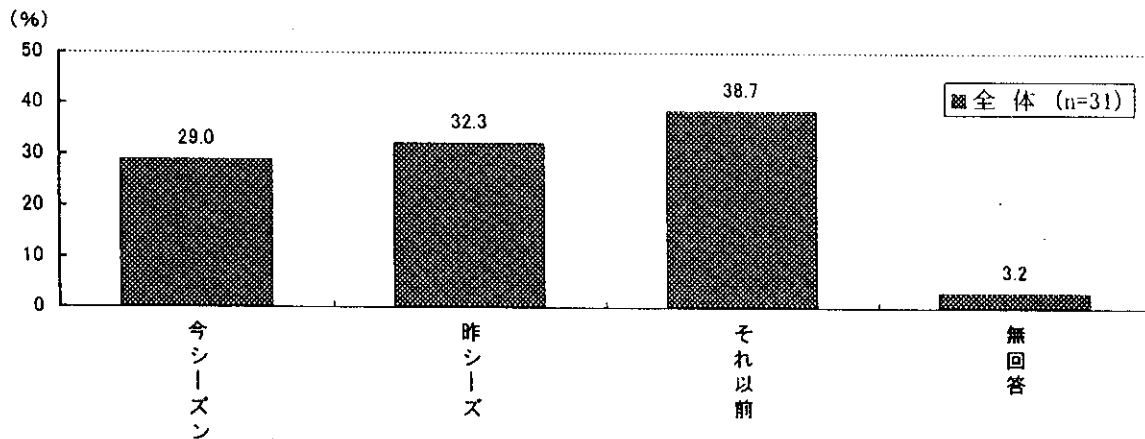
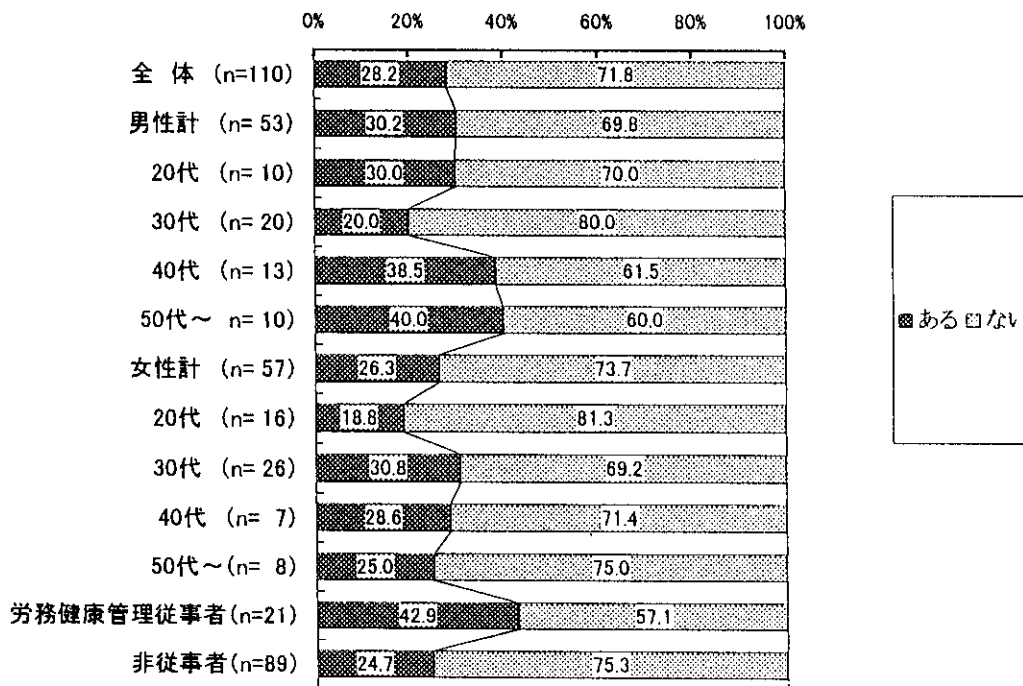
インフルエンザにかかったときに一番困ったこととしては、「熱が高いなど体の具合が悪くつらいこと」(48.2%)と「仕事を休まなければならないこと」(43.6%)がそれぞれ40%以上を占め、非常に高い。性・年齢別にみると、「仕事を休まなければならないこと」は男性(39.6%)に比べ、女性(47.4%)が高く、特に女性40代では57.1%を占めている。



	調査数 (n=)	熱が高い など体の 具合が悪 くつらい こと	仕事を休 まなけれ ばならな いこと	人にうつ さないよ うに気をつ けること	持病を悪 化させる こと	悪化する	治療費・医 療費がか かること	その他	無回答
全 体	110	48.2	43.6	4.5	0.0	0.0	3.6	0.0	
男性計	53	49.1	39.6	7.5	0.0	0.0	3.8	0.0	
20代	10	40.0	30.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	
30代	20	55.0	45.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
40代	13	38.5	46.2	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
50代～	10	60.0	30.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	
女性計	57	47.4	47.4	1.8	0.0	0.0	3.5	0.0	
20代	16	43.8	50.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	
30代	26	50.0	46.2	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
40代	7	28.6	57.1	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	
50代～	8	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
労務 健康 管理									
従事者	21	47.6	42.9	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	
非従事者	89	48.3	43.8	4.5	0.0	0.0	3.4	0.0	

②インフルエンザ罹患による長期休職・休学の経験

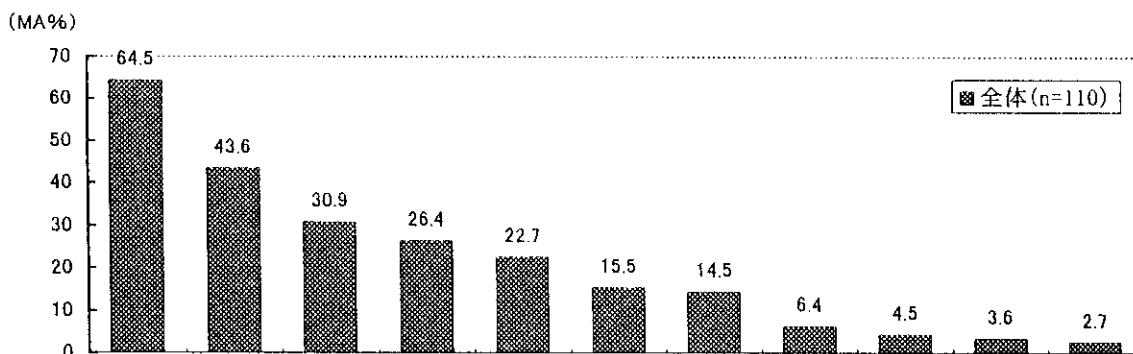
インフルエンザをこじらせて長期間仕事や学校を休んだ経験の「ある」人は 28.2%であった。その時期としては「今シーズン」(29.0%)、「昨シーズン」(32.3%)、「それ以前」(38.7%)となっている。



#### 4. 今後のインフルエンザ罹患時の対処

インフルエンザにかかった人の今後の対処法としては、「うがいや手洗いなど、日頃の生活習慣に気をつける」が最も高く64.5%、次いで「かかったかなと思ったらすぐに病院に行く」(43.6%)、「日頃から初期症状でわかるように、情報をチェックする」(30.9%)、「予防法や治療法について、日頃から情報をチェックする」(26.4%)、「かかったかなと思ったらすぐに会社を休み、休養する」(22.7%)などが20%以上となっており、日常のチェックと初期段階での対処が多く挙げられている。

性別にみると、男性では「日頃から初期症状でわかるように、情報をチェックする」(41.5%)、「予防法や治療法について、日頃から情報をチェックする」(30.2%)など日常のチェックを挙げる人が女性に比べて多くみられる。



	調査数 (n=)	うがいや手洗いなど、日頃の生活習慣に気をつける	かかったかなと思ったらすぐに病院に行く	日頃から初期症状でわかるように、情報をチェックする	予防法や治療法について、日頃から情報をチェックする	かかったかなと思ったらすぐに会社を休み、休養する	予防接種(ワクチン)を受ける	日頃からビタミン剤などを飲むようにする	予防薬(医師に処方してもらう)を飲む	かかったかなと思ったらすぐに薬局で薬を買って服用する	その他	無回答
全体	110	64.5	43.6	30.9	26.4	22.7	15.5	14.5	6.4	4.5	3.6	2.7
男性計	53	64.2	43.4	41.5	30.2	20.8	18.9	9.4	7.5	7.5	1.9	1.9
20代	10	60.0	70.0	40.0	40.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	20	85.0	35.0	50.0	25.0	20.0	35.0	15.0	10.0	10.0	5.0	0.0
40代	13	46.2	38.5	53.8	30.8	15.4	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0
50代～	10	50.0	40.0	10.0	30.0	30.0	10.0	0.0	10.0	20.0	0.0	10.0
女性計	57	64.9	43.9	21.1	22.8	24.6	12.3	19.3	5.3	1.8	5.3	3.5
20代	16	25.0	43.8	6.3	12.5	12.5	12.5	12.5	6.3	0.0	0.0	12.5
30代	26	84.6	42.3	26.9	38.5	19.2	15.4	19.2	3.8	3.8	7.7	0.0
40代	7	85.7	57.1	14.3	14.3	28.6	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0
50代～	8	62.5	37.5	37.5	0.0	62.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
労務健康管理												
従事者	21	66.7	42.9	42.9	28.6	23.8	28.6	9.5	9.5	4.8	4.8	4.8
非従事者	89	64.0	43.8	28.1	25.8	22.5	12.4	15.7	5.6	4.5	3.4	2.2